

適切な対応と援助で、成長し立ち上がる！

100万人を超える「ひきこもり」のご家族にとどけます

社会的ひきこもりから 自立への歩み

NPO法人おおさか教育相談研究所 著

A5版120ページ 頒価 800円

子どもが社会的ひきこもりから自立に向かうためには、親（保護者）による適切な対応と援助が最も大切です。親が果たした役割を果たせば、時間はかかりますがどの人も成長し立ち上がることができるところです。

この120ページの冊子は、親による適切な対応と援助の仕方などを具体的にわかりやすく説明したものです。どうぞお手に取ってほしいと思います。



推薦します

高垣 忠一郎 さん

(立命館大学名誉教授・心理臨床家)



30年の歴史をもつ相談員集団が、その相談経験をもとに『社会的ひきこもり』の理解とその支援のあり方について、知恵を集めて論議し丁寧にわかりやすく説いた稀有な集団的労作である。

目次から

- I 社会的ひきこもりとはどのようなことか
社会的ひきこもりの要因と背景
社会的ひきこもりの二次症状と長期化
- II 社会参加を促すにはどのようにすればよいか
適切な対応と援助をすればどの人も立ち上がる
援助にあたっての基本的な態度
- III 対応と援助にあたっての心得
気になる行動への対応の仕方・親が援助するにあたって大切なこと
社会参加にあたっての援助といくつかの事例
- IV 社会的に解決するために
親や子ども・若者の価値観をつくりだしてきた時代背景
民間団体による支援と行政の援助

申込み連絡先：NPO法人おおさか教育相談研究所
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-14 たかつビル2F
FAX 06-6768-2527
ご注文10冊ごとに1冊進呈させていただきます。



社会的ひきこもりから

自立への歩み

救われた

相談員先生のひと言

高校から登校拒否になり、24歳までひきこもり状態が続きました。何をどうしたらよいかかわからず、相談室を訪ねました。息子の状態や親の苦しみ・悩みを、緊張しながら話しました。静かに聴いておられた先生が、「時間がかかりますが、適切な対応と援助をすれば、どの子も必ず立ち上がります」のひと言で救われました。

相談回数を重ねる度に励まされ、息子の言うことに耳を傾け、変化を励みにしながらいま息子も29歳。アルバイトをしながら、やりたいものが見つかったと専門学校に通う毎日です。《母親》

親の理解と協力が一番重要です

ひきこもりの本人にとって、一番重要なのは親の理解と協力だと思っています。もちろん本人の力もありますが、それはだいたい元気にならないと無理です。元気になるために一緒に頑張るのは親です。

私は親に分かってもらうのに時間がかかりましたし、今でも100%ではありません。それでも私はバイトが出来るまで元気になりました。だから、いかに親の援助が子どもにとって大事かということを分かって欲しいのです。子どものSOSに気づいてください。耳を傾けてください。親に気にかけてもらえてくれるだけでも子どもは嬉しくホッとします。《26歳・女性》

ご注文10冊ごとに
1冊進呈

ご注文・問合せ NPO法人 おおさか教育相談研究所

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-14 たかつビル 2F

電話 06-6762-0232 (火曜・金曜 14:00 ~ 18:00) FAX 06-6768-2527

E-mail: kyoubun@minos.ocn.ne.jp http://kyoiku-sodan.main.jp/ 検索: 教育相談おおさか

必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。郵便振込用紙を同梱しますので、冊子到着後、10日以内に払い込みをお願いいたします。[送料は別途ご注文者負担]

1 注文書	ふりがな		書名	冊数
	お名前		社会的ひきこもりから 自立への歩み 頒価800円	冊
	お届け先	〒		
	TEL	FAX		